

**江東区**

**第4回区民会議 実施報告書**

# 目次

第1章 「第4回区民会議」について	3	第3章 区民意見(第3ラウンド～解決策の具体化)	20
1-1. 区民会議全体の目的、スケジュール	4	3-1. ①水辺・緑・環境	22
1-2. 開催概要	5	3-2. ②子育て・教育	28
1-3. 当日のスケジュール	6	3-3. ③地域コミュニティ・産業・観光・スポーツ	32
第2章 区民意見(第2ラウンド～解決策の追加)	9	3-4. ④保健・福祉	37
2-1. ①水辺・緑・環境	10	3-5. ⑤都市づくり・交通・防災	39
2-2. ②子育て・教育	12	第4章 アンケート	45
2-3. ③地域コミュニティ・産業・観光・スポーツ	14	4-1. 参加者の満足度	46
2-4. ④保健・福祉	16	4-2. ワークショップの中で気づいたことや感じたこと	47
2-5. ⑤都市づくり・交通・防災	18		

# 第1章 「第4回区民会議」について

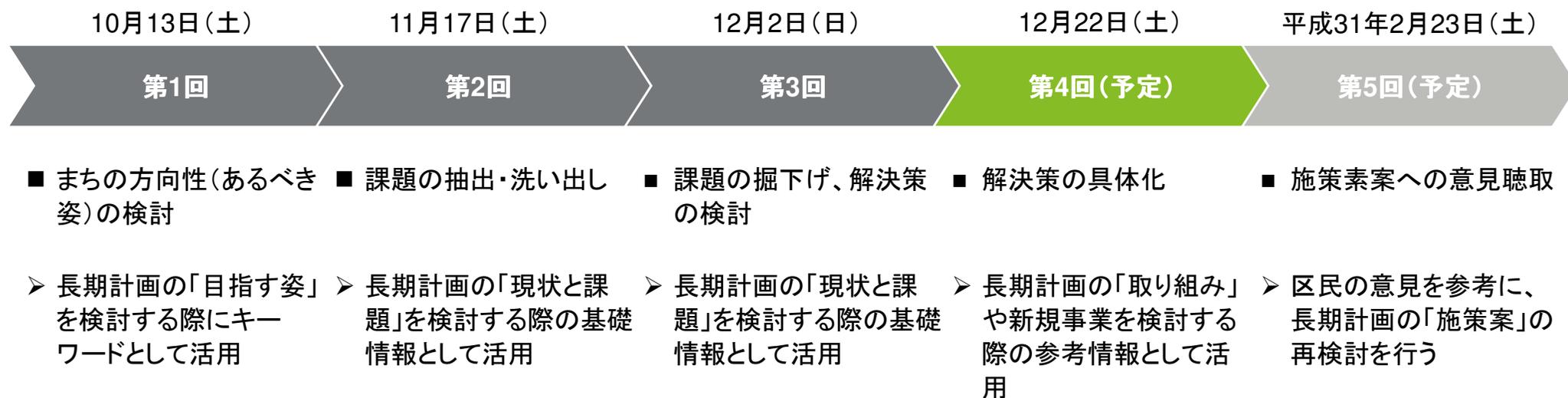
# 第1章 「第4回区民会議」について

## 1-1. 区民会議全体の目的、スケジュール

### 目的

- 平成32年度から始まる新たな長期計画の策定にあたり、住民参加の機会を確保するとともに、区民の江東区への思いやご意見を伺います。
- 区民の方からのご意見は、各施策のあるべき姿(目指す姿)の検討や施策立案に活用し、新たな長期計画へ反映します。

### スケジュール



# 第1章 「第4回区民会議」について

## 1-2. 開催概要

開催日	平成30年12月22日(土)
開催時間	13時～16時
開催場所	江東区役所
参加者	51名(男性28名、女性23名)
内容	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 第3回区民会議の第3ラウンド(解決策の検討)結果について、その内容を共有するとともに、背景にある課題についても認識合わせを行う。</li><li>■ 第3回区民会議において優先的に取り組むとした課題について、前回と同様の枠組み(個人・地域・行政)を基礎に、新たな解決策を検討する。</li><li>■ 検討した解決策を基礎に、「区長の視点」、「課題解決の効果・実現可能性」、「個人や地域主体へのサポート、連携の可能性」などの視点を意識しながら、3つ程度の解決策を取り上げ、事業アイデアシートを作成し内容を具体化する。</li><li>■ 最後に、各グループで検討した事業アイデアシートについて全体発表を行うとともに、事業化してほしいものなど気に入った事業への投票を行う。</li></ul>

# 第1章 「第4回区民会議」について

## 1-3. 当日のスケジュール (1)全体スケジュール

項目	内容	担当
趣旨説明	■ 開催趣旨などの説明	江東区
進め方説明	■ 第4回区民会議の進め方の説明	監査法人トーマツ
アイスブレイク(自己紹介)	■ グループの中で自己紹介	参加者
話し合い(第1ラウンド)	■ テーマに沿った話し合い 「前回の振り返り」～課題意識、解決策の共有	参加者
話し合い(第2ラウンド)	■ テーマに沿った話し合い 「解決策の追加」～解決策の検討、追加	参加者
話し合い(第3ラウンド)	■ テーマに沿った話し合い 「解決策の具体化」～事業アイデアシートを使用し、内容を具体化	参加者
発表	■ 全体で各グループの検討の内容を発表	参加者

# 第1章 「第4回区民会議」について

## 1-3. 当日のスケジュール (2) 検討する5つの分野

- これまでと同様に、施策の大綱を読み替えた5つの分野について、2グループずつに分かれて検討を行いました。

### 施策の大綱

1	水と緑豊かな地球環境にやさしいまち
2	未来を担う子どもを育むまち
3	区民の力で築く元気に輝くまち
4	ともに支えあい、健康に生き生きと暮らせるまち
5	住みよさを実感できる世界に誇れるまち

### 大綱の読み替え

水辺・緑・環境
子育て・教育
地域コミュニティ・産業・観光・スポーツ
保健・福祉
都市づくり・交通・防災

# 第1章 「第4回区民会議」について

## 1-3. 当日のスケジュール (3) 話し合いの流れ

- 話し合いの進め方の説明を踏まえて、3ラウンドにわたり解決策の具体化について検討を行いました。

### 第1ラウンド

#### ■ 前回の振り返り

- ✓ 第3回区民会議における第3ラウンド(解決策の検討)結果について、その内容を共有する。
- ✓ また、それぞれの解決策の背景にある課題についても認識合わせを行う。

### 第2ラウンド

#### ■ 解決策の追加

- ✓ 第3回区民会議において優先的に取り組むとした課題について、前回と同様の枠組み基礎に、自助(個人)・共助(地域)・公助(行政)の観点から、それぞれが取り組むべき新たな解決策を検討する。

### 第3ラウンド

#### ■ 解決策の具体化

- ✓ 検討した解決策の中から3つ程度を取り上げ、事業アイデアシートを作成し、内容を具体化する。
- ✓ 具体化の際には、次の3つの視点を意識する。
  - 区長の視点
  - 課題解決の効果と実現可能性の視点
  - 行政が直接実施するものだけでなく、個人や地域主体へのサポート、あるいは連携するという視点

### 発表・投票

#### ■ 検討結果の発表・投票

- ✓ 第3ラウンドで検討した事業アイデアシートについて全体発表を行い、内容を共有する。
- ✓ 参加者は各グループの発表内容から、事業化してほしいものなど気に入った事業への投票を行う。



## 第2章 区民意見(第2ラウンド～解決策の追加)

## 第2章 区民意見(第2ラウンド～解決策の追加)

### 2-1. ①水辺・緑・環境～その1

- 第3回区民会議において優先的に取り組むとした6つの課題(各分野2グループ体制×1グループあたり3つの課題をピックアップ)について、新たな解決策を検討しました。

(※)黒字は前回検討した解決策であり、赤字は今回追加した解決策です。

解決する課題	個人	地域	行政
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 水辺(水・川・海・空地)の利活用推進(公園・観光・交通として)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 区民として日常的に利用する(散歩道、サイクリングロード、フリーマーケット、遊具遊び、BBQなど)</li> <li>✓ マラソン、ウォーキングコースを設定する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 案内板を作る</li> <li>✓ イベントを実施する</li> <li>✓ ボランティア募集を公園のサインボードで行う(QRコードで江東区のページに遷移させる)</li> <li>✓ 運河・水辺などで防災情報(高潮など)をQRコードで示す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 野鳥、樹木の紹介・ガイドを行う</li> <li>✓ 子供達に野鳥や樹木紹介の絵を描いてもらう</li> <li>✓ ガイドマップ(ルートマップ)を作成する</li> <li>✓ グランドデザインを作成する(東京オリンピックのレガシーとして活用する)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 区民・地域・企業の参加による緑化推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ガーデニングを行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 植林を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 植林事業への補助を行う</li> <li>✓ 企業に壁面緑化を促す(企業イメージアップの支援)</li> <li>✓ 一定面積以上の土地(特に臨海部)所有者に緑地設置条例を作り、緑化を義務付ける</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 運河、水辺の環境改善(水質改善、美化推進)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ゴミを捨てない</li> <li>✓ ボランティアに参加する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 定期清掃を行う</li> <li>✓ ボランティアを活用する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 照明を設置する</li> <li>✓ 水質改善の研究を行う</li> <li>✓ 潮干狩りのできる水辺とする</li> </ul>

## 第2章 区民意見(第2ラウンド～解決策の追加)

### 2-1. ①水辺・緑・環境～その2

解決する課題	個人	地域	行政
<p>■ 水辺(水・川・海)の利活用推進(観光・交通として)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ゴミを捨てない</li> <li>✓ 水辺利用の開発プロジェクトに参加する</li> <li>✓ 区役所に対して成功例(他地域)をPRする</li> <li>✓ 個人が極力利用する</li> <li>✓ バリアフリー、車イス、ボードウォークを整備する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 水辺の楽しみ方、利用の仕方を地域で決める(グループを立ち上げる)</li> <li>✓ 住民合同で清掃する</li> <li>✓ 商店街の民間活用をする(ビジネスとして成り立つ企業を誘致する)</li> <li>✓ ゴミ捨てを考える</li> <li>✓ マンション管理組合について横の繋がりを強化する</li> <li>✓ 既存の運河、川の歩道を改修してボードウォークにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 行政との関わり方としてこのワールドカフェを制度化する</li> <li>✓ プロジェクトの募集企画をする</li> <li>✓ 観光(水辺)を促進する</li> <li>✓ 制度・ルール作り、活用するための規則をなくす</li> </ul>
<p>■ 行政の一体化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 長い目で見守る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 定期的に話し合いの場をつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 窓口を広げてもらう</li> <li>✓ 都市計画などにすりこみをする</li> <li>✓ 学校、公共施設の多目的利用を促す</li> <li>✓ 地域NPOの立ち上げ方法のセミナーを企画する</li> <li>✓ 業務を合理化する</li> <li>✓ 「なんでも課」を作る</li> </ul>
<p>■ 運河、水辺の環境改善(水質改善、美化推進)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ゴミを捨てない</li> <li>✓ ゴミがあれば拾う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 地域での管理体制を整える</li> <li>✓ コミュニティで見守る(日替わりゴミ拾い週間)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 美化のための予算化を行う</li> <li>✓ ルール作りを行う(規制ではなく)条例?</li> <li>✓ 区外にコマーシャルしていく</li> <li>✓ サイクリングロード、水辺と運河の整備</li> </ul>

## 第2章 区民意見(第2ラウンド～解決策の追加)

### 2-2. ②子育て・教育～その1

解決する課題	個人	地域	行政
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ニーズに合わせたこどもの居場所作り、遊び場づくり(ボール遊びなど自由な遊びの出来る場)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ こどもへの声かけ(危険な場面)を行う</li> <li>✓ 苦情も直接話し合う</li> <li>✓ 子供に関心を持つ</li> <li>✓ スマホ時代を意識した対応</li> <li>✓ 地域リビング(ex: plus one)</li> <li>✓ 預かってもらって話しをする場をつくる</li> <li>✓ 放課後の子どもの居場所(子どもの年齢別の細かな支援、乳児期・幼児期・学童期・青年期の課題の明確化)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ こどもの居場所を見守る</li> <li>✓ 高齢者の方の協力を得る</li> <li>✓ NPOと企業を結び付ける市民ファンドをつくる(ex:「京都地域創造基金」:地域の課題は地元NPOと住民の寄付で解決できるそうです。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 小、中学校グラウンドをさらに開放する</li> <li>✓ フリースペース(追い出されない居場所)を設ける(特に中高生)</li> <li>✓ プレーパークを設ける(自由な自己責任の遊び場)</li> <li>✓ 担い手を育成する(シニア世代に向けた地域貢献福祉大学の設置)</li> <li>✓ SNSの活用(インスタ、Facebookなどずいにあるもの)</li> <li>✓ 児童館を充実させる</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 児童虐待、貧困への対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 自宅開放型広場(オープンハウス)を設置する</li> <li>✓ 民生委員の協力(児童相談所は人によって向き不向きがあるため、志願制にしても向いていないようなら辞退可能とする)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 民生委員の協力を得る(自宅開放型広場に対して)</li> <li>✓ アウトリーチ(保健所・子育てサポートも同行)</li> <li>✓ 困っていることを発信する先をつくる</li> <li>✓ 区に手助けを求めるつぶやき(ヘルプ)をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ フリースペース・グループホームを設ける</li> <li>✓ 虐待をキーワードとした全ての支援施策を創設する(0才～18才)</li> <li>✓ 協働事業で地域と連携する</li> <li>✓ SOS発信窓口、子ども相談窓口、働いてくれる人募集窓口をつくる</li> <li>✓ 出かけることや買い物できない人をもっとつなげる努力をする</li> <li>✓ 門前仲町駅に窓口があるが、もっと相談所としてオープンなカフェのようなスペースとする</li> <li>✓ こども食堂を設置する(ex: 滋賀大津市? 「子ども食堂」63か所→すべての子どもが通えるよう300か所目標)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 子供の教育</li> <li>➢ 思いやりのある子供を育てる</li> <li>➢ 外国異文化に触れる</li> <li>➢ 高齢者、障害者への思いやりを育てる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 学生ボランティアを活用する</li> <li>✓ 青少年のための地域の中で安心して学習できるスペースを確保する</li> <li>✓ 学生ボランティアを活用する</li> <li>✓ Kids lineの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ボランティアの協力を得る</li> <li>✓ 地区集会所を開放する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 外国文化との交流を主とした教育プログラムを実施する(学生ボランティアの活用)</li> <li>✓ SOSメッセージの受信窓口をつくる</li> <li>✓ 地域窓口は、戸籍や住民票だけでなく、分からないことを聞くと教えてくれる窓口とする</li> <li>✓ Lineでもメールでもつぶやくだけで窓口がわかるもの(ex)「ごみを出せない」「子どもの食事作って」</li> <li>✓ 区主催の誰でも無料で参加できる、こどもの各種サークルの集まりを実施する(または、無料で行える仕組みをつくる)</li> </ul>

## 第2章 区民意見(第2ラウンド～解決策の追加)

### 2-2. ②子育て・教育～その2

解決する課題	個人	地域	行政
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 乳幼児保育・子育てと仕事両立の環境整備</li> <li>➢ 保育園、学校、先生支援、いじめ対策、虐待など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 孫の面倒をみる</li> <li>✓ 近所の面倒をみる</li> <li>✓ 産後ケアの育児版(子育てから解放されながら、悩みを聞いてもらう場をつくる)</li> <li>✓ 子育ての見守りをする</li> <li>✓ 子供に優しくない社会から優しい社会にする</li> <li>✓ 子育て経験を話せる場を作る(LINEなど)</li> <li>✓ 登録の手助けをする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 学校の先生を支援する(地域支援本部、コミュニティスクール)</li> <li>✓ 地域を巻き込む(森の幼稚園、寺小屋)</li> <li>✓ 児童館を活用する</li> <li>✓ 保育園、学校の作業負担を軽減する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ NPOなど支援団体との協働を行う</li> <li>✓ 志のある人への支援を行う</li> <li>✓ 保育園や幼稚園の人員を増やす</li> <li>✓ 子育て保険への取組を強化する</li> <li>✓ バス利用しやすい車イス、ベビーカーが使いやすくなるようバス会社へうながす</li> <li>✓ 産前産後の支援の充実(保健所の増設)</li> <li>✓ 子育て支援広報担当の配置・強化(かつ業務軽減)</li> <li>✓ 保育園の量だけでなく、質の向上も重視する(ex: 上越市「ファミリーヘルプ保育園」、公立一時預かり、年中無休24h)</li> <li>✓ 1クラス少人数制を実現する</li> <li>✓ ベビーシッターアルバイトを募る(学生、ベテランなど)</li> <li>✓ 小中学校施設を開放する</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 貧困世帯へのサポート</li> <li>➢ 母子家庭、貧困問題、共稼ぎ、親支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 虐待を通報先に連絡する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 子ども食堂を行う</li> <li>✓ 学童保育を行う(教育？ボランティア？)</li> <li>✓ 教育をバウチャー発行する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 母子家庭への支援をする</li> <li>✓ 父子家庭への支援をする</li> <li>✓ 組織形成の支援をする</li> <li>✓ 情報ネットワークを整備する</li> <li>✓ 児童相談所の充実(人材育成: 通信大学の受講、民間への出向)、(子ども家庭センターなどサポートする拠点の充実)</li> <li>✓ 地域への資金支援</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 生涯学習を通じた地域への参加</li> <li>➢ コミュニティ形成(高齢者、学生、地域の方)</li> <li>➢ 外国人支援(語学)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ キーマンとなる</li> <li>✓ 意識を向上させる</li> <li>✓ 地域に参画する</li> <li>✓ 場の情報を収集する</li> <li>✓ 外国人とコミュニケーションする</li> <li>✓ 声掛けを行う(外国人)</li> <li>✓ 体験の場の提供(ex: NPO法人カタリバ)</li> <li>✓ NPOの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 場所を提供する(集会所、空き店舗)</li> <li>✓ 寺小屋を作る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 公的場所を提供する</li> <li>✓ 場所選定を支援する</li> <li>✓ キーマンの育成を支援する</li> <li>✓ オンライン教育の充実(生涯学習、不登校への対策)→貧困による教育の格差解消</li> <li>✓ グローバル化に伴う外国人文化(施設)との密なふれあいの場を作る</li> </ul>

## 第2章 区民意見(第2ラウンド～解決策の追加)

### 2-3. ③地域コミュニティ・産業・観光・スポーツ～その1

解決する課題	個人	地域	行政
<p>■ もっとつながる社会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ お隣り、近所と挨拶し、コミュニケーションをする</li> <li>✓ 困っている人がいたら声をかけてみる</li> <li>✓ コミュニティへ積極的に参加する</li> <li>✓ いつでもだれでも集まれる、ちょっと寄ってみることができる場所をつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 皆が集まれる魅力的な会合をつくる</li> <li>✓ 自治会イベントに参加する</li> <li>✓ 声をかけ合ってイベントに参加する</li> <li>✓ 緊急時の物資情報を共有する(町内会単位で連絡を密に)</li> <li>✓ 自治会をオープン化する(参加しやすくする)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 高齢者の社会進出を促進する</li> <li>✓ 他地域との交流イベントを企画する</li> <li>✓ 区としてのイベントを増やす</li> <li>✓ 行政から自治会への働きかけを行う(町内・自治会改革)</li> </ul>
<p>■ ブランド化により江東区を楽しくする</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 区の良さを各自で発信し、区民であることの誇りを持つ</li> <li>✓ 家族で区内の探検会を行う</li> <li>✓ 区の観光・スポーツ等を宣伝する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ○○な江東区の旗印のもと魅力的なまちづくりをする</li> <li>✓ 地区を知る機会を作って皆で参加する</li> <li>✓ 地域内イベントを連発する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ○○な江東区という旗をかかげる</li> <li>✓ 中学、高校の部活に顧問のコーチを導入する有名校になれば人も集まる</li> <li>✓ 新しい視点の企画を作る</li> <li>✓ 運河の水を綺麗にする</li> <li>✓ 周辺を含めた清掃・整備を行う</li> <li>✓ もっと地域企業を巻き込む</li> </ul>
<p>■ 観光産業の人材育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 自分の子供に様々な体験をさせ、視野を広く持たせる</li> <li>✓ 区内の伝統等について知る、話題にする</li> <li>✓ 区の産業を宣伝する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 地域でイベントを行う</li> <li>✓ 区の産業・観光の魅力を発掘・発信する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 観光・産業を担うと儲かる仕組みを作る</li> <li>✓ 学校教育の現場で楽しさ良さを知らせる</li> <li>✓ 予算を多くする</li> </ul>

## 第2章 区民意見(第2ラウンド～解決策の追加)

### 2-3. ③地域コミュニティ・産業・観光・スポーツ～その2

解決する課題	個人	地域	行政
<p>■ 地域におけるコミュニティづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 趣味・興味を持つ</li> <li>✓ 挨拶をする</li> <li>✓ 見守りをする</li> <li>✓ 健康体操をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 自治会行事へ参加する</li> <li>✓ 防犯パトロールを実施する</li> <li>✓ PTA/パソコン教室を実施する</li> <li>✓ 町会行事へ参加する</li> <li>✓ 学校を支援する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 財政支援をする</li> <li>✓ 人材支援をする</li> <li>✓ 文化財産の情報共有・活用</li> </ul>
<p>■ 多文化共生の推進(外国人との共生)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 声掛けをする</li> <li>✓ カフェ・食事</li> <li>✓ 文化へ興味を持ち理解する</li> <li>✓ 助け合いをする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 多文化祭りを実施する</li> <li>✓ 外国語講座へ参加する</li> <li>✓ 日本文化の体験を行う</li> <li>✓ 在住外国人活用(外国語教師など)</li> <li>✓ 区民イベントにおける外国人の参加コーナーの設置</li> <li>✓ 江東区報の外国語版を区のHPに掲載</li> <li>✓ 外国語版区報を区内の外国人に向けて発信</li> <li>✓ 外国人と日本人との相互理解促進</li> <li>✓ QRコードを活用し、商店街の周遊性を高める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 財政支援をする</li> <li>✓ 人材支援をする</li> <li>✓ 国際交流協会を設立する</li> <li>✓ 情報提供する</li> <li>✓ 多言語化する(サイン、案内板、観光施設等)</li> </ul>
<p>■ 地域(運河、遊歩道など)環境・資源の整備と活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 美化清掃する</li> <li>✓ 散歩する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 各種イベントを開催する</li> <li>✓ レンタサイクルの設置場所をもっとわかりやすく発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 財政支援をする</li> <li>✓ ウォーキング・サイクリングの支援をする</li> <li>✓ 人材支援をする</li> <li>✓ 文化歴史を調査する</li> <li>✓ 情報提供する</li> <li>✓ 区民のボランティアを中心に区内マップに目玉となるものをプロット</li> <li>✓ サイクリングロード(小名木川や仙台掘等)の整備</li> <li>✓ 自転車と人との間で安全確保</li> </ul>

## 第2章 区民意見(第2ラウンド～解決策の追加)

### 2-4. ④保健・福祉～その1

解決する課題	個人	地域	行政
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 予防医療の推進</li> <li>■ 診療体制の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 検診(健診)を受ける</li> <li>✓ 情報収集する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 掲示板で周知徹底する</li> <li>✓ 健診を誘い合う(ビラを配りながら立ち話する)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 症例数を開示する</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 高齢者の居場所づくり、多世代との交流</li> <li>■ 高齢者が生きがいをもって生活できる環境づくり、安心して生活できる地域づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 社会的な役割を自覚する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 多世代との交流の場をつくる</li> <li>✓ その人の能力(強み)を引き出し、形にする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 案内や窓口になる</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ワンストップ体制の強化(吸い上げ→割振り、窓口は1ヶ所)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 情報収集(知識)する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 情報を提供する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 縦割り体制(横のラインも勉強して円滑に案内できる窓口をつくる)</li> </ul>

## 第2章 区民意見(第2ラウンド～解決策の追加)

### 2-4. ④保健・福祉～その2

解決する課題	個人	地域	行政
<p>■ 地域が支える医療・介護体制の構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 日々の挨拶、声かけをする</li> <li>✓ 健康づくりの基礎としてのウォーキングを行う</li> <li>✓ 家族と健康データを共有する</li> <li>✓ 自分が健康を維持することが大切</li> <li>✓ ジェネリック薬品を選択する</li> <li>✓ 性能のいい歩数計を配り、グループで集計し歩数ランキングを作成</li> <li>✓ ウォーキングイベントを開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 外国人と交流する(ゴミの件、公園で遊んでいる時のマナーなど)</li> <li>✓ 制度勉強会を定期的に行う</li> <li>✓ 町会の回覧板及び掲示板に知らせる</li> <li>✓ 大勢の人が集まり、お話ができる場所をつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 町単位ぐらいの小さなよろず出張所をつくる</li> <li>✓ 在宅医療についてももう少し分かりやすい説明をする</li> <li>✓ 問題が生じたらすぐ行動する</li> <li>✓ 医療・介護のワンストップ窓口を設置する</li> <li>✓ 日、祭日に利用できる病院増やす</li> </ul>
<p>■ 多世代での交流(様々な属性)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 声かけ、挨拶をする</li> <li>✓ 小さなイベントなどどんどんやる(X'mas、豆まきなど)</li> <li>✓ 地域イベントへ参加する</li> <li>✓ 一声気軽にかける大切さ</li> <li>✓ いつでも行ける場所を決めておく(いつでも自由に入れる場所)</li> <li>✓ イベントの一覧化(参加状況、内容の詳細紹介)→何かひとつは参加しようという気持ちを持つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 町会などを開かれた雰囲気にする</li> <li>✓ 孤立している世帯を把握する</li> <li>✓ 集会所を活用する(町会長の協力、優しさを求む)</li> <li>✓ 行政、町会のチームワークが必要</li> <li>✓ 集会所の利用活性化のための何か…</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 地域の間づくりを支援する(資金だけではなくノウハウも)</li> <li>✓ ワールドカフェの様な会合を増やす</li> <li>✓ 町会、自治会、地域コミュニティの状況を把握し、区民へ情報提供する</li> <li>✓ 区立の施設を22時くらいまで自由に使えるように開放する</li> <li>✓ 多世代交流を考えるためのイベントを行う</li> <li>✓ 単身世帯向けの政策立案をする</li> <li>✓ 民間の空いている工場や空き地(家)等を利用する</li> <li>✓ 憩いの場所の設置支援</li> </ul>
<p>■ 障害者に対する正しい理解、協力</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 対話の機会をつくる(パーティ、イベント)</li> <li>✓ 自分ごととして考える</li> <li>✓ まちで声をかける(お手伝い)</li> <li>✓ まず関心を持つ</li> <li>✓ 自分もいつかは同じ運命になるかもという気持ちを持つ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 障害者の方々を主役にしたイベントを開催する</li> <li>✓ 同じ住民の意識を大事にする</li> <li>✓ ご近所バリアフリーマップをつくる(店舗ガイド)</li> <li>✓ 障害者雇用を促進する</li> <li>✓ 大企業、有名企業の協力を求む</li> <li>✓ 町会行事に参加しやすい内容にする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 障害者スポーツフェスタを「江東パラリンピック」と名を変えて本気のスポーツをやる</li> <li>✓ バリアフリーを充実させる(施設の優しさ)</li> <li>✓ 共生社会の理念を学校で教育する</li> <li>✓ 補助製品の特別サービスを行う</li> <li>✓ 卒業後の余暇活動を充実させる対策</li> </ul>

## 第2章 区民意見(第2ラウンド～解決策の追加)

### 2-5. ⑤都市づくり・交通・防災～その1

解決する課題	個人	地域	行政
<p>■ 犯罪被害に遭わない環境づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 挨拶、声かけをする(地域コミュニケーション)</li> <li>✓ 警察と顔見知りになり、挨拶をよくする。仲良くなる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 防犯パトロールを実施する</li> <li>✓ 防犯カメラを設置する</li> <li>✓ 防犯マップを作成し、区民へ共有する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ カメラを設置する</li> <li>✓ 照明(自動)を設置する</li> <li>✓ 警察パトロールを行う</li> <li>✓ 交番を多くする</li> </ul>
<p>■ 災害時における区民の避難経路の確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 歩道橋の必要性を検討する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 歩道橋の必要性を検討する</li> <li>✓ 使っていない歩道橋を調査する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 撤去費用を予算化する</li> <li>✓ ユニバーサルデザインも予算化する</li> </ul>
<p>■ 集合住宅における防災力の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 防災知識を修得する</li> <li>✓ 外人居住者への伝達方法を検討する</li> <li>✓ 行政の補助金があるか把握する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 防災マニュアルを作成する</li> <li>✓ 「みずべ」で防災講座をする(ピアツツァなどで発信を！)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 水害時の移動手段としてゴムボートを公共施設や高層住宅の上層階に準備する</li> <li>✓ スーパー・堤防を構築する</li> <li>✓ マンション組合と行政の連携</li> </ul>

## 第2章 区民意見(第2ラウンド～解決策の追加)

### 2-5. ⑤都市づくり・交通・防災～その2

解決する課題	個人	地域	行政
<p>■ 区の特徴を生かしたまちづくり(古い町と新しい町の調和)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 区のまち歩きをSNSなどにより情報発信する</li> <li>✓ イベント情報を充実させ、まち歩きを楽しむ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 景観ブロックごとのイメージカラーを決める</li> <li>✓ 都市づくりは外国人を配慮する</li> <li>✓ 区民の街頭演説会を行なう(声をあげられる場と機会をつくる)</li> <li>✓ 入会しやすい町会の新しい形を考える</li> <li>✓ 社会教育をしっかり行なう(企業にも入ってもらう)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 企業や行政に対して積極的に声を上げやすい環境を作る</li> <li>✓ まちデザインの企画に住民が参加しやすいようする</li> <li>✓ インフラを増やすより人付き合いを増やして解決していくことを心掛ける</li> <li>✓ 企業と区民が協働して事業に参加できるようにする</li> <li>✓ 地域の教養の質を上げる</li> </ul>
<p>■ 偏った交通網の解消(交通利便性の向上)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 個人がwebなどを活用して交通情報を獲得する</li> <li>✓ 交通ルールを遵守する</li> <li>✓ 交通問題について発信する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 水上バスを運行する(南北、東西の繋がり)</li> <li>✓ コミュニティバスを運行する(1本/4～6分)</li> <li>✓ 地下鉄8号線を行政に積極的に提案する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 基幹交通網とレンタサイクルの設置場所を整備する</li> <li>✓ 地下鉄8号線を延伸する</li> <li>✓ 住民が旧市街に対し愛着を持てるようにする</li> <li>✓ 行政職員が町会に積極的に参加する</li> <li>✓ 地域の経済的に余裕の無いところに対しフォローをする(お金ではなく)</li> <li>✓ 拠点をいくつか区内に決めて循環コミュニティバスを走らす</li> <li>✓ 大島から東陽町へのバスを増やす</li> </ul>
<p>■ 犯罪被害に遭わない環境づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 防犯ベルを持つ</li> <li>✓ 振り込め詐欺に引っかからない</li> <li>✓ 戸締りをする(玄関・ベランダ)</li> <li>✓ 不在時は郵便物と新聞をとめる</li> <li>✓ 困っている人に手を差し伸べることを心掛ける(行政としても)</li> <li>✓ 高齢者、幼児のリサーチ探索機能を設置する。→区が物品を配る(試しに1000個)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 高齢者が街頭演説をして声をあげる活動をする</li> <li>✓ まちを掃除することで防犯対策をする(落書きをすぐ消す等)</li> <li>✓ 防犯カメラ設置と「防犯カメラ作動中」の看板を付ける</li> <li>✓ 防犯パトロールを行う</li> <li>✓ 防犯教育を学校で行なう(地域の人も参加する)</li> <li>✓ タクシーにレコーダーを設置する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 街灯を設置する</li> <li>✓ 助け合いの精神を大切にする(笑顔で挨拶をしたり、まちでの知らない人同士の会話が増やす)</li> <li>✓ 防犯パトロールへの支援をする</li> <li>✓ クリーン(清掃)イベントを行う</li> </ul>

## 第3章 区民意見(第3ラウンド～解決策の具体化)

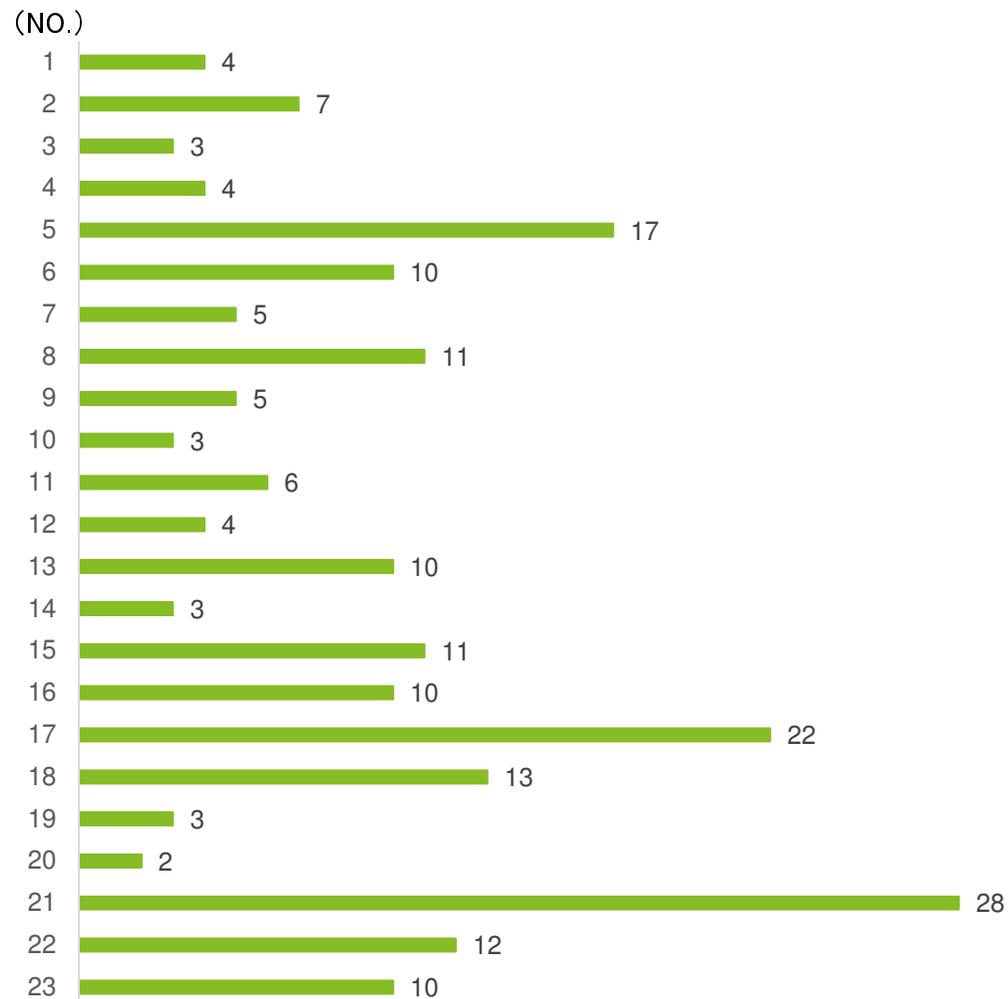
### 第3章 区民意見(第3ラウンド～解決策の具体化)

- 第2ラウンドまでに検討した解決策のうち、課題解決時の効果や実現可能性などの視点から、各グループ3つ程度の解決策を抽出しました。そして、抽出した解決策について、事業アイデアシートを使い具体的内容を検討し、合計23個の事業提案を行いました。
- さらに、参加者は各グループの発表内容を踏まえ、事業化してほしいものなど気に入った事業への投票(1人5票以内)を行いました。

事業一覧

分野	NO.	タイトル
水辺・緑・環境	1	ガイド事業(ボランティア)
	2	ボードウォーク(BOARD WALK)整備と活用
	3	なんでも課をつくる
	4	マラソンコースの設定
	5	自然と会話しよう!(遊歩道の整備)
	6	ゴミのポイ捨てをなくそう。子供のポスター大作戦
子育て・教育	7	こどもに優しい社会
	8	親子の安心できる居場所づくり
	9	教育支援(乳幼児から青少年まで)
	10	子育て世代への経済的支援(文化的側面)
地域コミュニティ・産業・観光・スポーツ	11	QRコードを用いて案内、サインを多言語化し、地域活性化に!!
	12	いろいろな文化を知ろう
	13	みんなの自治会(町会)オープンプロジェクト
	14	もっと知ろうよ、いいとこいっぱい江東区文化プロジェクト
	15	世界は一つ 江東区異文化都市化プロジェクト
保健・福祉	16	こうとうCo-Living(コリビング)タウン
	17	「あなたはひとりじゃない!」
都市づくり・交通・防災	18	江東ベニス化大作戦
	19	犯罪のないまちづくり
	20	ゴムボートを利用した防災ゲーミング
	21	コミュニティバスの運行
	22	防犯カメラの設置
	23	地域情報の充実

投票結果



## 第3章 区民意見(第3ラウンド～解決策の具体化)

### 3-1. ①水辺・緑・環境～事業アイデアシート【NO.1】

1. タイトル	ガイド事業(ボランティア)
2. 解決する課題	・利用頻度が低い水辺の活用 ・地域情報を広める
3. 対象	区民、個人
4. 解決策の概要	公園のサインボードの活用 ・QRコードを活用し、その場で江東区ホームページにアクセスできたり、防災情報を確認できたりできるようにする ・QRコードからシニアボランティア募集も行えるようにする
5. 解決策のポイント	・ガイド事業自体は住民やNPOが実施し、区はサポート、調整を行う
6. 連携する主体とその役割	①民間団体、NPO:企画、運営 ②区:サポート、調整

### 第3章 区民意見(第3ラウンド～解決策の具体化)

#### 3-1. ①水辺・緑・環境～事業アイデアシート【NO.2】

1. タイトル	ボードウォーク(BOARD WALK)整備と活用
2. 解決する課題	・エンターテイメントがない ・カフェがない
3. 対象	横十間川、猿江公園
4. 解決策の概要	・カフェ、レストランなど商業スペースの設置 ・既存遊歩道をバージョンアップする ・壁側などのスペースの有効活用
5. 解決策のポイント	—
6. 連携する主体とその役割	①民間団体:企画、運営、資金提供 ②区:法規則、調整

## 第3章 区民意見(第3ラウンド～解決策の具体化)

### 3-1. ①水辺・緑・環境～事業アイデアシート【NO.3】

1. タイトル	なんでも課をつくる
2. 解決する課題	・行政の一体化(区民の声を拾うため) ・問合せ先の明確化
3. 対象	・区民、個人 ・自治会、マンション管理組合、町会
4. 解決策の概要	新規NPO、コミュニティ組織をつくる
5. 解決策のポイント	なんでも課を区ではなく、住民で運営する ・コミュニケーションが円滑にとれる ・地域の経験を共有することができる ・住民(シニア層)の参画を促す
6. 連携する主体とその役割	①区:窓口の一本化 ②民間団体:運営、企画

### 第3章 区民意見(第3ラウンド～解決策の具体化)

#### 3-1. ①水辺・緑・環境～事業アイデアシート【NO.4】

1. タイトル	マラソンコースの設定
2. 解決する課題	エンターテインメントをさらに増やす
3. 対象	—
4. 解決策の概要	主催者:区、地域、民間企業 ・定期的を実施する ・江東シーサイドマラソンを誘致する
5. 解決策のポイント	—
6. 連携する主体とその役割	①民間団体 ②区

## 第3章 区民意見(第3ラウンド～解決策の具体化)

### 3-1. ①水辺・緑・環境～事業アイデアシート【NO.5】

1. タイトル	自然と会話しよう！(遊歩道の整備)
2. 解決する課題	・緑化促進 ・緑地保全
3. 対象	区民(特に子育て世代、高齢者)
4. 解決策の概要	自然に対する関心を高めてもらうために、下記のような取り組みを行って自然とのつながりが持てる遊歩道の整備を行う ・ベンチを増やす(いろいろな種類さまざまに！) ・木場の職人さんに作ってもらう(地産地消) ・階段を減らしてスロープを増やす ・植物の名前がわかるように名札を設置する
5. 解決策のポイント	多くの人が親しみを持てたり、関心が持てるように各取り組みを実施する 【ベンチの設置】 ・切り株型や花壇が一体になったものなど親しみの持てるデザインのベンチを設置する ・ベンチデザインの公募を行う ・ベンチの作成には木場の職人さんにも協力してもらう 【植物の名札】 ・子どもたちに植物の絵を書いてもらうなど手作りの名札を設置する ・名札に必要な情報は花屋さんなどに協力してもらい情報を集める
6. 連携する主体とその役割	①花屋さん:植物の情報提供 ②こどもたち:プレート作成 ③デザインの好きな人:ベンチ、花壇の作成

## 第3章 区民意見(第3ラウンド～解決策の具体化)

### 3-1. ①水辺・緑・環境～事業アイデアシート【NO.6】

1. タイトル	ゴミのポイ捨てをなくそう。子供のポスター大作戦
2. 解決する課題	・キレイな街へ ・ポイ捨てする人の意識をかえよう
3. 対象	区民全員
4. 解決策の概要	ゴミのポイ捨てをなくすために下記の取組を行う ・小学校や中学校に声をかけてゴミのポイ捨て防止のポスターを募集する ・第一日曜日は『ストップゴミの日』としてポイ捨て禁止を呼び掛けたり、ゴミ拾いを行ったりする
5. 解決策のポイント	ゴミのポイ捨てをなくすため以下のような取組みを行い周知を図る 【ポイ捨て防止ポスター】 ・子どもたちが作成したポスターでゴミ捨てのマナーの向上を図る ・ポスターはコンビニやスーパーにも協力してもらい設置する 【ストップゴミの日】 ・多くの人に参加しやすいように日曜日に実施する ・ゴミ拾いを行う際は、ベンチの下などよくゴミが捨てられているところなどにも注意して行う
6. 連携する主体とその役割	①小学校・中学校:ポスターデザイン ②コンビニ・スーパー:コンビニやスーパーの窓にポスターを貼る

## 第3章 区民意見(第3ラウンド～解決策の具体化)

### 3-2. ②子育て・教育～事業アイデアシート【NO.7】

1. タイトル	こどもに優しい社会
2. 解決する課題	こども本位の子育て支援と学校等施設の環境整備
3. 対象	こども、子育て中の親
4. 解決策の概要	<ul style="list-style-type: none"><li>○既設教育施設等の利用を促進し、子育て世代が気軽に集える場をつくる。</li><li>・学校、児童館、図書館などの公共施設について、利用時間や利用方法を拡大するとともに、いごこちの良さを向上する仕掛けをする</li><li>・必要に応じて既存施設の用途変更、統合、新設を行い施設再編を行う</li><li>○先生(幼稚園・保育園含む)を孤立させない支援の仕組みづくり</li><li>・学校だけに頼らないようにする</li><li>・PTAシステムを変革する(イベント・機能ごとにやりたい人がそれぞれ担当できるようにする)</li><li>○地域を巻き込み、行政やNPOなどと連携強化を図る</li><li>・学校だけでなく、保護者など地域の方が加わった地域支援本部をつくる</li><li>・行政はキーマンを育成して、学校と地域をつなげる役割を担う</li><li>・NPOなどはキーマン育成に協力する</li></ul>
5. 解決策のポイント	<ul style="list-style-type: none"><li>○豊富な既存公共施設の有効活用(必要に応じた機能見直し)</li><li>○町会・自治会・PTAなどの地域組織の活性化</li><li>○子育て世代が気軽に集まる「場」づくり</li><li>○NPO等の活動拡大活動、地域キーマンの選定・育成</li><li>○行政による事例のPR、広報周知</li></ul>
6. 連携する主体とその役割	<p>①PTA・親: 個別案件ごとの支援 ②NPO等: キーマン育成への協力、NPOネットワーク、寺子屋 ③地域(町会、管理組合): 子ども、子育て向きテーマの設定</p>

## 第3章 区民意見(第3ラウンド～解決策の具体化)

### 3-2. ②子育て・教育～事業アイデアシート【NO.8】

1. タイトル	親子の安心できる居場所づくり
2. 解決する課題	・児童虐待の解消 ・貧困層への支援(相談場所の設置、相談場所のPR)
3. 対象	・貧困層、やや貧困層 ・子育て世代 ・乳幼児の親子
4. 解決策の概要	・現在、都が運営している児童相談所について、平成37年までに江東区が運営する予定だが、そのための人材育成を江東区主体として行う。 ・空き家、空きスペース区の施設等を活用した「親子スタバ」を開設し、問題を抱える親子などが自由に情報発信、情報提供を行う ・困った声を適切に拾うことによって、児童虐待や貧困の連鎖の防止につながる。
5. 解決策のポイント	・相談場所のPRなど、情報提供を強化する(神奈川葉山町などが細やかな発信をしている。SNSなどのアプリ作成。) ・品川区のぷちまりん(同じ月齢で同じ月の子をもつこどもの居場所を提供している。区の施設を利用し、近所のエリアで細かく分けている)
6. 連携する主体とその役割	①民間福祉事業者:区の職員の受け入れ(研修) ②スタバ、レストラン:ほっとする飲み物や食事の提供 ③空き家の大家、空き店舗:利活用

## 第3章 区民意見(第3ラウンド～解決策の具体化)

### 3-2. ②子育て・教育～事業アイデアシート【NO.9】

1. タイトル	教育支援(乳幼児から青少年まで)
2. 解決する課題	教育格差の解消
3. 対象	こども(貧困、不登校、ひきこもり、ハンディキャップを持った子)
4. 解決策の概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・不登校、ひきこもり、貧困などの理由により、学校教育についていくことが困難な児童・生徒について、必要に応じて学習塾と連携しつつ教育バウチャーを配布することによって、学習機会を確保し、教育格差を解消する。</li><li>・学校での授業と同等レベルの内容を配信し、何度も閲覧でき復習も可能なオンライン教育を行う。</li><li>・こどもからのSOSの発信について、LINE・ツイッター・メールなどのSNSを使用することで、こどもが簡単に気軽に助けを求めることができるとともに、SOSが「見える化」することで救い出しやすくなる</li></ul>
5. 解決策のポイント	—
6. 連携する主体とその役割	<ul style="list-style-type: none"><li>①民間学習塾:教育バウチャー制度を利用した学習支援の提供</li><li>②区:LINEの公式アカウントをつくる(SOS発信の手段)</li><li>③チャンスフォーチルドレン(江東区亀戸):学校外教育バウチャーでの連携</li></ul>

## 第3章 区民意見(第3ラウンド～解決策の具体化)

### 3-2. ②子育て・教育～事業アイデアシート【NO.10】

1. タイトル	子育て世代への経済的支援(文化的側面)
2. 解決する課題	貧困の連鎖の解消
3. 対象	子育て世代
4. 解決策の概要	<p>○文化・スポーツなど勉強以外の学習について、貧困の有無にかかわらず誰でも学習機会が持てるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・公立学校での機会提供(クラブ活動の授業として実施する。道具代を区で補助する)</li><li>・ニーズに合わせ利用できるように教育バウチャーを配布する</li><li>・美術館を無料化する(対象0~18歳)</li></ul>
5. 解決策のポイント	—
6. 連携する主体とその役割	①江東区内博物館、美術館 ②江東区内小中学校 ③放課後NPO、アフタースクール ④認定NPO法人カタリバ、よっちゃんち ⑤NPO法人夢職人

## 第3章 区民意見(第3ラウンド～解決策の具体化)

### 3-3. ③地域コミュニティ・産業・観光・スポーツ～事業アイデアシート【NO.11】

1. タイトル	QRコードを用いて案内、サインを多言語化し、地域活性化に！！
2. 解決する課題	(1)案内サインの多くが日本語である (2)区内に文化財が散在している。(→周遊性を向上させる) (3)区内コマース(HP等)の実施、羽田や成田にチラシ等配布 (4)シャッター商店街化の懸念 (5)災害時の外国人観光客への対応
3. 対象	・外国人観光客 ・歴史、文化、観光資源の所有者や管理者 ・商店街(連合会)等
4. 解決策の概要	○オリンピック・パラリンピックに向け外国人観光客が増加しているが、オリパラ後も観光客に来てもらうため、案内サインについてQRコードを活用することで、スマホ上で観光客の母国語を表示するようにする。 ○観光客の母国語で区内の観光案内をすることで回遊性を高めるとともに、商店街にも立ち寄ってもらい、商店街活性化につなげる。 ○加えて、災害時の避難場所等も案内する。 (1)各案内・サインにQRコードをつける (2)母国語で解説、案内、クーポン配布 (3)観光ルート紹介、商店街へ誘導(江東区の魅力を広めるCM等の作成)→商店街活性化 (4)周遊性の確保 (5)災害時のルート、避難場所案内 (6)オリパラ以後も継続して観光回遊性を高める
5. 解決策のポイント	(1)最初は場所や数を絞り、費用をかけずにスタートする (2)モデル地区の状況を踏まえ、区内全域に広げる (3)対象言語数を徐々に増やす
6. 連携する主体とその役割	①管理者(所有者): 了解を得る必要がある ②商店街: クーポン券の発行 ③区: 調整役、財政支援 ④企業やボランティア: 人材(翻訳)をお願いする

## 第3章 区民意見(第3ラウンド～解決策の具体化)

### 3-3. ③地域コミュニティ・産業・観光・スポーツ～事業アイデアシート【NO.12】

1. タイトル	いろいろな文化を知ろう
2. 解決する課題	住み易い住環境
3. 対象	子育て世代、外国籍の人、自治会、高齢者
4. 解決策の概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・多文化圏交流を目的としたイベントを継続的に年2回程度実施する</li><li>・多言語講座を開設し、年2回サイクル程度実施する</li><li>・外国人観光客に対応した多言語の道路サイン・観光案内サインを設置する</li><li>・定住外国人向けに、広報誌や各種パンフレット等を多言語化する</li></ul>
5. 解決策のポイント	様々な人が交流できる環境をつくること
6. 連携する主体とその役割	①フィリピン人グループなど、外国人コミュニティ: イベント実施の際の協力・連携

## 第3章 区民意見(第3ラウンド～解決策の具体化)

### 3-3. ③地域コミュニティ・産業・観光・スポーツ～事業アイデアシート【NO.13】

1. タイトル	みんなの自治会(町会)オープンプロジェクト
2. 解決する課題	・開かれた自治会の開催 ・自治会同士の連携
3. 対象	自治会役員、地域住民
4. 解決策の概要	<p>○区内の自治会は歴史があり様々なイベントを行っているが、参加者が固定化している。自治会をもっとオープンにするとともに、自治会同士の連携を促進することで、若い世代を含め自治会活動への参加者を増やし自治会を活性化させる。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・自治会に任せると取組が進まない恐れがあるため、行政主催のオープンミーティングを実施し、自治会の活動を後押しする</li><li>・個々の住民の積極的な参画を求める</li><li>・定住外国人の積極的な参画を求める</li></ul>
5. 解決策のポイント	自治会における既存の仕組みの再構築
6. 連携する主体とその役割	①行政:きっかけづくり ②自治会:自治会の再構築、オープン化 ③住民:積極的参加 ④事業者:人的・金銭的支援

## 第3章 区民意見(第3ラウンド～解決策の具体化)

### 3-3. ③地域コミュニティ・産業・観光・スポーツ～事業アイデアシート【NO.14】

1. タイトル	もっと知ろうよ、いいとこいっぱい江東区文化プロジェクト
2. 解決する課題	区内であまり知られていない旧所等をもっと広く知ってもらう
3. 対象	住民と観光客
4. 解決策の概要	<p>○江東区は歴史があるまちであり様々な史跡が存在しているが、著名なものは少なく一つひとつの史跡が散在している。このため、散在している史跡を繋げ、ひとつの線にする。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・インフラとなるポータルサイトを整備する</li><li>・情報提供・ツアーガイドの協力者を募集する(サポーター制)</li><li>・区内外国人に積極的な参加を求める</li><li>・ツアーイベントを実施する</li></ul>
5. 解決策のポイント	参加、提供者に対するインセンティブの提供
6. 連携する主体とその役割	<p>①行政:ポータルサイト構築、ネットワーク化</p> <p>②住民:情報提供、ツアーガイドのボランティア</p>

## 第3章 区民意見(第3ラウンド～解決策の具体化)

### 3-3. ③地域コミュニティ・産業・観光・スポーツ～事業アイデアシート【NO.15】

1. タイトル	世界は一つ 江東区異文化都市化プロジェクト
2. 解決する課題	・コミュニケーション活性化 ・区内在住の外国人の理解促進
3. 対象	外国人、住民
4. 解決策の概要	○江東区には多くの外国人の方が暮らしているが、日本人・外国人ともに双方が何をしているのかわかっていない現状がある。このため、互いの交流を促進することにより多文化共生の社会をつくる。  ・多文化、多国籍の祭り、交流を行う(区民祭りの活用) ・区内在住の外国人による言語教室の開催 ・日本人による日本文化教室の開催 ・外国語版区報を区ホームページで発信する(登録制のメール配信)
5. 解決策のポイント	・外国語住民に対して、区の連絡がどのように届いているかを把握する(アンケート調査) ・既存の区報で、外国語版ホームページのリンク先を記載する等、誘導の仕組みを導入する
6. 連携する主体とその役割	①外国人:コミュニケーション、イベントへの協力 ②住民:コミュニケーション、イベントへの協力 ③行政:アンケート調査、働きかけ、インフラ構築

## 第3章 区民意見(第3ラウンド～解決策の具体化)

### 3-4. ④保健・福祉～事業アイデアシート【NO.16】

1. タイトル	こうとうCo-Living(コリビング)タウン
2. 解決する課題	課題を抱えつつ孤立しがちな人々と社会との接点を作るとともに多世代が共に暮らし育み合うまちをつくる
3. 対象	高齢者、障害者、子ども、子育て世帯、外国人、消費者、生活者
4. 解決策の概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・区の既存施設を活用して(再利用)して、あるいは建て直して共生のための様々な施設等をつくる</li><li>・大規模な施設でなくても可、コンセプトを踏襲できる施設を地域に創出していく</li><li>・施設の例としては、集合住宅、商業施設(ここで暮らす人も働く)、教育施設、福祉施設、病院、コミュニティ施設、区の出張所</li><li>・当該施設の運営をとおして実現したいことの例としては、助け合いのコミュニティを形成、情報が行きわたる受け皿、ワークシェアリング等が可能になる</li></ul>
5. 解決策のポイント	<ul style="list-style-type: none"><li>・23区のなかでも江東区は「暮らしのまち・働くまち」という住民の意識が根付いている</li><li>・財政面で比較的安定しているため、付加価値のある新規取組みが展開できる</li><li>・利便性のある都市立地において、安全な場所、生活の利便性、入居しやすい家賃という魅力を有する</li></ul>
6. 連携する主体とその役割	地域団体、福祉団体、福祉事業者、教育団体、教育関係者、病院・クリニック、ディベロッパー、施設管理事業者 ・高齢者と子どもたちの共同の場における育ち合い ・多世代が共に育ち合う

## 第3章 区民意見(第3ラウンド～解決策の具体化)

### 3-4. ④保健・福祉～事業アイデアシート【NO.17】

1. タイトル	「あなたはひとりじゃない！」
2. 解決する課題	(多)世代間の交流
3. 対象	障害者、高齢者
4. 解決策の概要	<p>○障害者や高齢者の生活の質向上に寄与するイベントを開催する</p> <p>・イベント企画検討を通して生まれるコミュニティやイベントを通じ、精神的な豊かさを感じられるだけでなく、身体的な健康維持増進にも効果が期待できる</p> <p>・例えば空き家の活用について、地域開放すればその空間にコミュニティが形成されるわけではなく、目的があってコミュニティ・交流が生まれるものであり、全て任意・自由に委ねてしまえば、本質的なコミュニティ形成は難しい</p> <p>・クラブ活動のような位置付けで、コーラス、ウォーキング、手芸、食事会、料理のような部門別の参加により、定期的イベントを開催することを想定している。</p> <p>・例えば料理にしても、作る、食べる一連の活動のなかで交流やコミュニティは育まれ、このような期待効果を見出すためには、一定の頻度で集い継続的な活動が必要になるため、クラブ活動と同様に参加する努力義務が発生する</p> <p>○日々の活動の目標設定のために、年1回程度の大規模イベントを企画する</p>
5. 解決策のポイント	<ul style="list-style-type: none"><li>・集うための居場所の確保(場所、物件)</li><li>・大イベントの開催(年1回程度)</li><li>・費用の捻出方法の検討(スポンサー?)</li></ul>
6. 連携する主体とその役割	①区: 広報、物件の紹介、パイプ役、バックアップ

## 第3章 区民意見(第3ラウンド～解決策の具体化)

### 3-5. ⑤都市づくり・交通・防災～事業アイデアシート【NO.18】

1. タイトル	江東ベニス化大作戦
2. 解決する課題	交通網の解消の解消
3. 対象	区民
4. 解決策の概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・〈いつ〉だんだんに(実施の回数・範囲を)増やしていく。土日の開催からだんだん増やしていく</li><li>・〈どこ〉(江東区内を流れる)運河</li><li>・〈だれ〉区民、区民以外</li><li>・〈なに〉水上バス等を使った運河交通によって江東区内の南北交通問題を解決する</li><li>・〈なに〉運河を介したコミュニケーションを展開していく</li></ul>
5. 解決策のポイント	<ul style="list-style-type: none"><li>・運河を活用する</li><li>・水害対策、観光にも効果がある</li><li>・区民のイベント開催を促す</li><li>・“船カフェ”を定期的で開催する</li><li>・地域の特色に合わせた「色」(例 赤:文化地域、青:臨海地域、緑:緑化地域)を設定し、視覚的にエリアの特徴を表現する</li><li>・ことみちゃんをイベント大使に任命し、PRを図る</li></ul>
6. 連携する主体とその役割	①第三セクター ②区民ボランティア ③自治会

## 第3章 区民意見(第3ラウンド～解決策の具体化)

### 3-5. ⑤都市づくり・交通・防災～事業アイデアシート【NO.19】

1. タイトル	犯罪のないまちづくり
2. 解決する課題	犯罪被害に遭わない環境づくり
3. 対象	小学生、高齢者
4. 解決策の概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・〈いつ〉今すぐ実施する</li><li>・〈どこで〉文化センター、小中学校、保育園、集会場で実施する</li><li>・〈なにを〉高齢者や小中学生がコミュニケーションをとれるようにし、地域内に顔見知りを増やす</li><li>・〈なにを〉開催の頻度は週一回から始め、交流の場を設ける</li></ul>
5. 解決策のポイント	<ul style="list-style-type: none"><li>・江東区らしさである義理人情を活かしたコミュニティ作りを展開</li></ul>
6. 連携する主体とその役割	<ul style="list-style-type: none"><li>①小学校:活動のPR、場の提供</li><li>②老人会:活動のPR</li></ul>

## 第3章 区民意見(第3ラウンド～解決策の具体化)

### 3-5. ⑤都市づくり・交通・防災～事業アイデアシート【NO.20】

1. タイトル	ゴムボートを利用した防災ゲーミング
2. 解決する課題	区民の防災力強化
3. 対象	こども、障害者
4. 解決策の概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・区民の防災に関する知識・意識を強化する</li><li>・こども、障害者を対象に行う</li><li>・避難所の設置を体験する</li><li>・避難用のゴムボートを利用した災害(水害)教育を実施する</li><li>・避難用のゴムボートを実際に設置する</li></ul>
5. 解決策のポイント	<ul style="list-style-type: none"><li>・区民の防災意識の向上</li></ul>
6. 連携する主体とその役割	①自治会:ゴムボート・避難設備の要不要の判断、防災設備の活用方法を検討

## 第3章 区民意見(第3ラウンド～解決策の具体化)

### 3-5. ⑤都市づくり・交通・防災～事業アイデアシート【NO.21】

1. タイトル	コミュニティバスの運行
2. 解決する課題	区内の移動困難
3. 対象	区内南北等(潮見、有明、枝川、豊洲etc.)
4. 解決策の概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・現在、コミュニティバスは一台しか稼働していないので、もっと台数や路線を増やす</li><li>・コストの負担を区、事業者、利用者で三等分等にして負担する</li><li>・バス停等を設置しなくても気軽に乗降できる仕組みを導入する</li><li>・位置情報システム等を活用する</li><li>・人口増加地域への施策(ポストオリパラ地域)とする</li></ul>
5. 解決策のポイント	<ul style="list-style-type: none"><li>・区が主導して進める</li><li>・路線の確保(既存バス路線などとのすみわけ)</li></ul>
6. 連携する主体とその役割	①行政:路線の整備認可 ②利用者:利用料の負担(積極的に利用する) ③事業主:ドライブ、テクニク、車両の提供

### 第3章 区民意見(第3ラウンド～解決策の具体化)

#### 3-5. ⑤都市づくり・交通・防災～事業アイデアシート【NO.22】

1. タイトル	防犯カメラの設置
2. 解決する課題	犯罪防止
3. 対象	こども、高齢者etc.
4. 解決策の概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・江東区内の犯罪が発生しやすいような箇所に防犯カメラを設置する</li><li>・タクシー、マイカー等でもこどものSOSを捕捉するような防犯リサーチシステムを設置する</li></ul>
5. 解決策のポイント	<ul style="list-style-type: none"><li>・(上記を実現するための)情報システムの構築</li><li>・(システム構築等に係る)費用の負担</li><li>・プライバシーの保護に配慮しつつも、誤差のない精度でのシステム設計</li></ul>
6. 連携する主体とその役割	①行政:情報システムの主体、補助金 ②利用者:協力姿勢 ③事業主:費用の負担、車両の提供、マイカー提供(ボランティアとして)

## 第3章 区民意見(第3ラウンド～解決策の具体化)

### 3-5. ⑤都市づくり・交通・防災～事業アイデアシート【NO.23】

1. タイトル	地域情報の充実
2. 解決する課題	情報発信の方法
3. 対象	区民
4. 解決策の概要	<p>○下記的手段を用いて情報発信を行う</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①SNS(若い世代)</li><li>②口コミ(友人、家族)</li><li>③タウン紙、区報の充実工夫(ex: 高齢者)<ul style="list-style-type: none"><li>・観光協会のパンフ、ホームページとの連携</li><li>・各年代にも(読まれる工夫をこらす)</li></ul></li><li>④街頭板<ul style="list-style-type: none"><li>・街路版に掲載される情報の件数が少ない</li></ul></li></ul>
5. 解決策のポイント	<ul style="list-style-type: none"><li>・上記、①、②、③、また、その他の情報発信方法について現行で実施している媒体を再整理する</li><li>・街頭板を増やす</li></ul>
6. 連携する主体とその役割	<ul style="list-style-type: none"><li>①行政:設備負担、場所の提供</li><li>②個人:口コミ、SNS(LINE)</li><li>③事業者:商店会、町会・自治会との連携</li></ul>

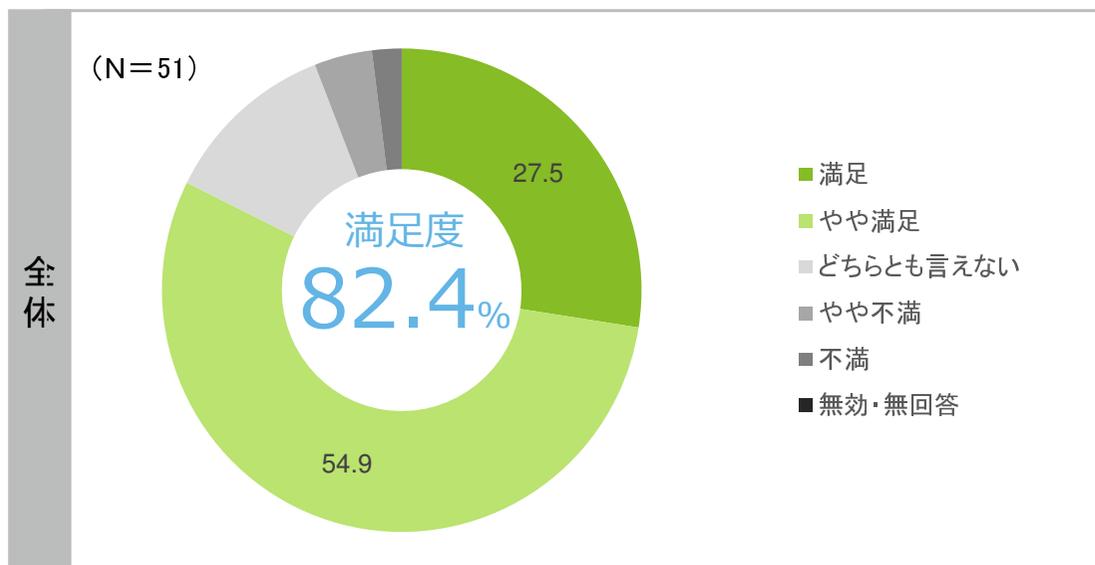
## 第4章 アンケート

# 第4章 アンケート

## 4-1. 参加者の満足度

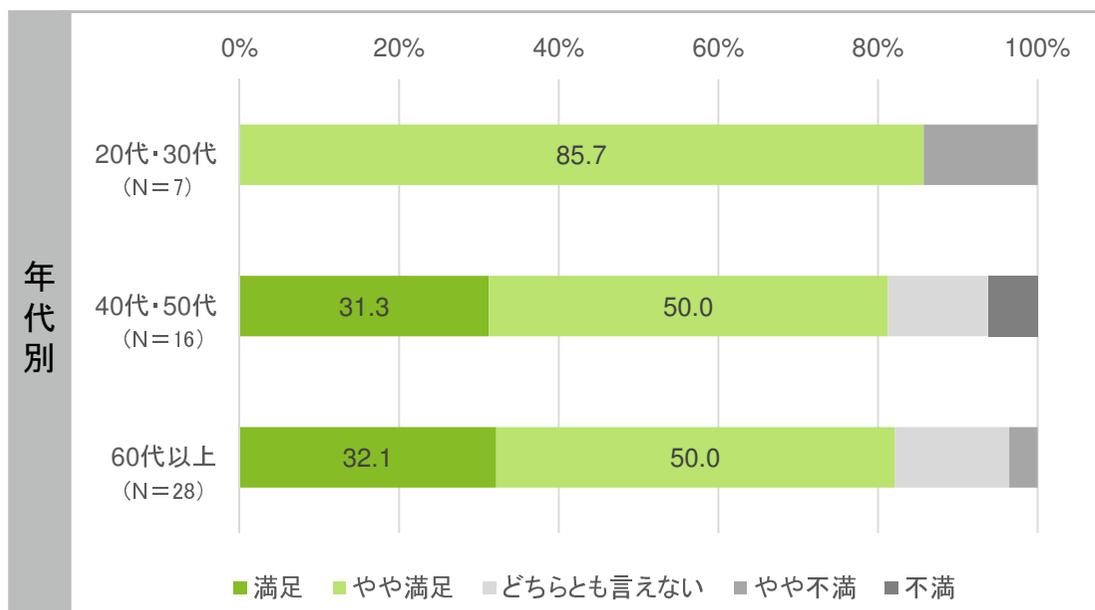
8割を超える参加者が「満足(満足+やや満足)」と回答しました。

### (1) 本日のワークショップはいかがでしたか



### ▼ 主な意見【満足点】

- ✓ あらゆる方面からの意見に感心しました
- ✓ 多様な意見に接した
- ✓ 斬新なアイデアを伺い、それをふくらませることができた
- ✓ 区民の方とお話できたことに満足しました
- ✓ 非常に意義ある会議であった



### ▼ 主な意見【不満点】

- ✓ もう少し、時間にゆとりがあればと思った
- ✓ 充実した議論はできたけど、時間が足りません
- ✓ 事業を3つは多いと感じました。ひとつひとつが深まらないまま3枚完成させなければ、という意識が優先してしまう
- ✓ 事業提案は3つではなく、1つにした方がよい
- ✓ 若い人の参加が少なかった

## 第4章 アンケート

### 4-2. ワークショップの中で気づいたことや感じたこと①

分類	内容
江東区全般について	・運河の有効利用が、防災という面ではまだまだ練る余地があるんだなと新しい目線ができました
	・水の郷のイメージが少ない。もう少しイメージアップの事業を考えたらよいと思います
	・せっかく話し合いをしているので、区民会議(ワールドカフェ)を発展的継続的にfollow-upするしくみを！！
	・区が何から何まで背負い込まないこと、地域との連携方式を組み立てて、きめ細かい対応をゆだねること、そのためのしかけをつくること
ワークショップの運営について	・課題が難しかった。もう少し事例があるとよかった
	・時間不足。手法になれていないとまとまらない
	・発表に対して質問や意見を言う時間が欲しかった
	・区のご担当からの見解、コメントも伺いたかった
	・具体的に計画を策定するのなら、要所で区の担当者に各グループに入っていていただき、軌道修正をしながら進めて欲しいと思う
	・討議を急がされまとめることに意識が集中し深める時間が足りない。この回は二回ぐらいの会議が必要と思いました。年齢構成をバランスよく配置されていると良いと思いました
	・人数が多くてまとまらなかったのも、3人位の方がいいのではないかと思った
・毎回違うメンバーだと、多様な意見が聞ける一方で、以前の(前回の)話を踏まえて議論をすることが難しくなるので、班の中に前回と同じメンバーが数人いる状態でグルーピングしてもいいのではないか	

## 第4章 アンケート

### 4-2. ワークショップの中で気づいたことや感じたこと②

分類	内容
ワークショップの感想	・多彩な意見が出て大変参考になりました
	・気づかない事にたくさん気づき、とてもよかったです
	・具体的な良い会議でした
	・色々な意見と経験が聞けて参考となった。案外に現実味のある提案が多かった
	・幅広い意見を毎回聞くことができ、とても有意義です。話しやすい場の提供を意識していただき、意見を出しやすい
	・このようなワークショップは継続することが大切では？今後もコミュニケーションを続けていきたい
	・話し合いの内容によって考え方の違いがあることに気がついた。色々な意見とても参考になりました
	・ワールドカフェを年1回継続して開催していただきたいと思いました